

ようこそ

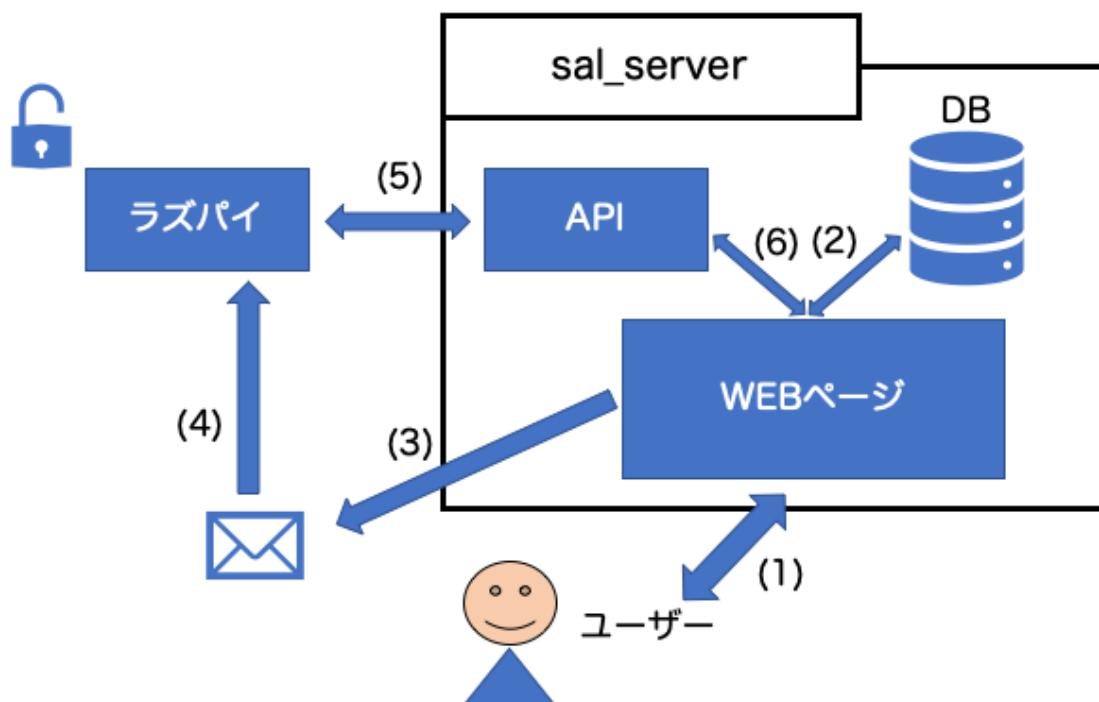
ようこそ、魔のプロジェクト「公共施設利活用アプリ」へ。
この資料は、去年、私たちが散々苦しめられたプロジェクトの仕様書である。

この資料だけではわからないことがたくさん出てくると思うので、そのときは國宗研究室(7号館6F)の稲葉を訪ねてください。月曜と火曜4限と金曜の3限以外の平日午後は高確率でいます。

目次

- ファイル構成
- [setting.py](#)
- [models.py](#)
- [urls.py](#)
- [views.py](#)
- [templates](#)
- その他

全体像



1. ユーザーがWEBページを見たり、予約情報を入力する。
2. ログインや予約などの情報をやりとり、djangoで操作可能
3. 予約したとき、登録したメールアドレスにメールを送信
4. メールに添付されたQRコードをラズパイに読み込ませる。
5. ラズパイがQRコードの情報をシステムに照会する。

6. APIがQRコードの情報をシステムに照会する。もし予約されていたとき、Trueを返す。
7. Trueを受け取ったラズパイは鍵ケースを開ける。

WEBページ

webページ

DBとのデータのやりとり

DB

sqliteを使用。

djangoのmodels.pyで操作可能なので、基本的にsqlはいじる必要ない。

API

ラズパイから送られてきたランダム文字列がDBに含まれていて、かつ、予約時間の前後-分の範囲の時間かを判定する。ラズパイにはTrueとFalseとだけ返す。

メール

QRコードが添付されている。

QRコードにはランダム文字列の情報が入っている。

ラズパイ

QRコードリーダーでQRコードを読み取る。

読み取ったランダム文字列をAPIに渡す。

APIから返ってきた判定を元に鍵の開閉を行う。

[次へ](#)